



熊谷東ロータリークラブ会報



NO.
11

クラブテーマ

「五感を使って楽しもうロータリー」

インスピレーションになろう

2018.10.3 発行

会長：市川 富夫 副会長：藤澤 貞彦 会報情報委員長：野村 泰豪
幹事：浅井 純次 会長エレクト：浅井 純次

国際ロータリー会長：バリー・ラシン
第2570地区ガバナー：茂木 正

〒360-0024 熊谷市問屋町2-4-1 熊谷流通センター会館
TEL.048-525-3025 FAX.048-525-7011
office@kumagaya-east-rc.com
例会日：水曜日12時30分/月末は夕刻例会 18時30分

通算 1962回 外部卓話 高木 侃氏（満徳寺 資料館館長）

平成30年9月19日

◎司会：吉田 繁 副SAA ◎点鐘：市川 富夫会長

会長の時間

市川 富夫 会長



ブラジル・フロリアノポリス 1918年9月15日国際捕鯨委員会総会（IWC）が開かれた。加盟国89か国中48か国が反捕鯨、41か国捕鯨支持により賛成27・反対41・棄権2。日本案は否決された。IWCの設立の目的はクジラの資源保護と持続的な利用としている。

日本は、南極海と日本沿岸含む西大西洋エリアで調査捕鯨を行っている。「調査捕鯨」は国際捕鯨取締条約8条で、クジラの科学的調査を権利として独自に行っている。商業捕鯨再開に必要な科学的なデータを集めて、クジラの年齢や胃の内容物などを調べている。同条約は「捕獲したクジラは可能な限り加工して鯨肉は副産物として販売をする。利益は次回調査費に使う。

日本が南極に捕鯨船を派遣したのは1930年半ばで日本は焼け野原となり国民は飢えていました。それを見たダグラス・マッカーサー元帥の提案で、日本は米国タンカーを改良して捕鯨船を二隻造り南極に向かったのが始まりだそうです。1940年から1964年の当時は、日本の最も主要なタンパク源を補って、巨大なシロナガスクジラ・マッコウクジラを二万四千頭以上捕獲した。皆さんも給食で食べた記憶がある方もいると思います。築地の市場に鯨肉販売店は二件だけありますが、鯨肉の入荷量が減っても価格は上がらないそうです。今では日本人も牛肉が安く買えるので鯨肉を食べなくなるとぼやいていた。

グリーンピースで働いた、フリージャーナリストの佐久間淳子さんは、捕鯨は日本にとってメリットは無いと言っています。視点を変えますと日本政府高官の話として「南極海の捕鯨は日本文化の一部ではなく、国際的なイメージが良くないし鯨肉は商業的需要もない。あと十年もすれば、捕鯨は日本から姿を消すでしょうと言っていたそうです。日本の調査捕鯨は「国民の税金」で政府が行っていて、研究の予算や毎年の計画、出世や年金が掛かった、官僚の大きな構造が作り上げられているのが、理由だと言われている。政治家も自分の選挙区が捕鯨と関りが強ければ、議席を守るために商業捕鯨の再開を約束するだろうと言っていました。

幹事報告

浅井 純次 幹事



さきたま古墳研修セミナーの案内

10/21（日）9：30 受付

さきたま古墳公園 史跡博物館前

ロータリーの友地区代表委員より

9月ロータリー月間によせて

米山記念奨学会より

ハイライトよねやま222

・高城神社より

例大祭 10/2（火）10：30～

・熊谷市コミュニティづくり市民協議会より

秋の530運動について（協力依頼）

例会日	出席	欠席	MU	出席率
9.19	17	11	0	60.71%

〈本日 10/3 のプログラム〉

理事報告 / クラブフォーラム / ガバナー訪問

来賓紹介

藤澤 貞彦 副会長

満徳寺 資料館館長 高木 侃氏



ニコニコ BOX

安藤 久乃 委員



市川会長・藤澤副会長・浅井幹事

満徳寺資料館館長 高木侃様、本日の卓話宜しくお願致します。

市川富夫会長

縁切り寺満徳寺館長 高木侃様 先週は満徳寺の詳細な説明を有難う御座いました。今日は笑える卓話 楽しみにしていました。宜しくお願いを致します。

高木恵理子夫人、いつも有難うございます。

浅井純次幹事

先日 R L I セミナーに参加させていただきました。ロータリーを再認識しました。とても有意義な1日でした。あと3回楽しみです。

清水利夫会員

高木侃先生には、先週、満徳寺を御案内頂き、ありがとうございました。本日はまた、卓話宜しくお願致します。

井桁憲治会員

高木侃様、本日はお忙しい処お越し下さりありがとうございます。先週も私共にも分かり易く内容の深いレクチャーを伺い感銘を憶えました。今日もよろしくお願致します。

吉田 繁会員

高木侃様には、二週に渡りお忙しい中お世話になりますが、本日の卓話大変楽しみにしております。宜しくお願致します。

岩崎孝男会員

先週の職場訪問は、天候にも恵まれ大勢のご参加をいただき、無事終了することが出来有難う御座いました。

本日は、職場訪問で満徳寺参拝の折に大変お世話になりました資料館館長の高木様にはお忙しい中をおいでいただき有難う御座います。卓話を楽しみにしております。

野中弘之会員

高木様ようこそおいで下さいました。先週満徳寺の由来や、私の好きな寺の一つ東慶寺についてのお話楽しく拝聴致しました。本日の卓話が楽しみです。

細川末廣会員

先週の職場訪問例会では満徳寺資料館高木館長様には大変お世話になりました。再度、卓話ありがとうございます。

安藤久乃会員

今日は、高木館長の卓話楽しみにしております。宜しくお願致します。

ニコニコ BOX	本日	累計
9.19	¥17,000	¥227,100

外部卓話

満徳寺 資料館館長 高木 侃



三くだり半に見る別れの美学

I 女にとって江戸時代は暗黒の時代か：夫は一方的に理由もなく妻を離婚できたか

『追い出し離婚』か「飛び出し離婚」か

◆美学—その 1

夫は離婚原因を妻の所為にはしなかつた：「我等勝手につき」

◆美学—その 2

夫は離婚状を渡した妻から領収書（返り一札）をもらった

◆美学—その 3

夫が不法口不埒を働いたときには、あらかじめ妻に離婚状を渡した（先渡し離婚状）

◆美学—その 4

馴染んだ「妾」と手切れするときも離婚状が必要だった。

◆美学—その 5

東上州の未婚女性は男との別れに縁切り証文を渡した（執心切れ一札）

離婚と三くだり半

女房と相談をして妻を去り / もめるはず妻と女房が同居する
去るときは九十両ではすまぬなり / 百のうち十両ぬけた嫁をとり
去状を書くとお入婿おん出され / 去状へ無筆は鎌と椀を書き
世界に二つの縁切寺—東慶寺と満徳寺
縁なき衆生を濟度する松ケ岡 / 出雲にて結び鎌倉にてほどき
わっちがも行くとおぶつさと松ケ岡 / すは鎌倉の大事ぞと仲人来る
成（いぬ）をすて申（さる）のかつ込む松ケ岡 / 去状を取る
うち年が三つふけ

II 離婚のときに金銭・財産はどう扱われたのか

◆美学—その 6: 「持参財産返還の原則」

秋風を防ぐ持参の金屏風 / 去状を書くうち質を受けにやり

◆美学—その 7: 「離婚請求者支払い義務の原則」

逃げて来てつまるものかと里の母

III 江戸の女房観

「女房と畳は新しい方がいい」 Or 「女房と鍋釜は古いほどよい」・「女房にほれてお家繁盛」

南無女房乳を飲ませに化けて来い

IV 川柳は時代をうつす鑑

追い出されましたと母へそつと言ひ（1762年） / 出されたを出て来たにする里の母（1771年）

さつたさつたといふけれどにげた也（1777年）

主の縁一世減らして相続し / 去状をやるとふだんのいとこなり

又叔母というかとしかる後の妻 / 後家の気は仏の弟いやな事
姑の日向ばつこは内をむき / 姑は嫁の死に水とる気なり

〈次回 10/17 のプログラム〉

米山奨学生 卓話
（タン・ワンキーさん（熊谷南 RC））